

2010年2月

【別紙①】

「MAIN/PRIME NX バージョンアップによる改善内容」(v2.5.4)

過去データビューワー、Excel関数のヒストリカルデータのティック表示において、1分間に60本以上のティックが発生しても、積み上がり自動更新するようにしました。

<従来>

日付時刻	現在値前日比幅	現在値
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:58	-1	2920
2010/01/28 9:19:57	-1	2920
2010/01/28 9:19:56	-1	2920
2010/01/28 9:19:55	-1	2920
2010/01/28 9:19:54	-1	2920
2010/01/28 9:19:53	0	2921
2010/01/28 9:19:52	-1	2920
2010/01/28 9:19:51	-1	2920
2010/01/28 9:19:50	0	2921
2010/01/28 9:19:49	-1	2920
2010/01/28 9:19:48	0	2921

[例]・・・9:19:59 で値のみが自動更新していました

<バージョンアップ後>

日付時刻	現在値前日比幅	現在値
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	-1	2920
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:59	0	2921
2010/01/28 9:19:58	-1	2920
2010/01/28 9:19:57	-1	2920
2010/01/28 9:19:56	-1	2920
2010/01/28 9:19:55	-1	2920
2010/01/28 9:19:54	-1	2920

[例]・・・9:19:59 で最新の値が積み上がり自動更新します。
そのため、ティック表示に抜けがなくなります。

(注) チャートは従来どおり 1 分間に60本以上のティックがあった場合、Y軸の現在値は最新の値1本のみが表示されます(数値一覧画面も同様です)。

以上